

イオン北海道 株式会社(北海道)

ご登壇者

商品本部 食品商品部
農産 バイヤー・マネージャー
かわぐち たかお

川口 孝夫

持続可能な農産物の販売を通じて
北海道・日本・世界を発展・成長させていくこと

品目：玉ねぎ・じゃがいも（露地）



アジェンダ

- 自己紹介 質問事項 回答
- ①見える化商品を取り扱ったきっかけ
- ②見える化を知ったときに感じたこと、感想
- ③見える化の取組内容（特徴・工夫）
- ④販売にあたって、取引先との交渉や店舗掲示等の難しかったこと
- ⑤見える化に取り組んで良かったこと
- ⑥消費者の反応
- ⑦見える化を含む環境負荷低減に向けた今後の自社の取組について
- まとめ



①見える化商品 を取り扱った きっかけ



サステナブルたまねぎ

▼2024年12月販売開始

▼特別栽培農産物(農薬・化学肥料の使用量が慣行基準の1/2以下)

▼産地での環境に配慮した取組や、安定供給に向けた取組を通じて、玉ねぎの生産・流通を実践



サステナブルじゃがいも

(ゆめいころ)

▼2025年9月販売開始

▼特別栽培農産物(農薬・化学肥料の使用量が慣行基準の1/2以下)

▼産地での環境に配慮した取組に加え、シスト抵抗性品種「ゆめいころ」を使用し持続可能な生産を応援



②見える化を知ったときに感じたこと、感想



見える化を知ったときの感想



③見える化の 取組内容 (特徴・工夫)



「ゆめいころのポテトサラダ」 デリカ・農産コラボ



④販売にあたって 取引先との交渉や 店舗掲示等 難しかったこと



⑤見える化に取り組んで 良かったこと



研修会やメディアで 注目される取組



⑥消費者の反応



消費者の反応



⑦見える化を含む 環境負荷低減に 向けた今後の自社 の取組について



まとめ ありがたい姿 あらゆる農産物に かかわることが 出来る「八百屋」

